

位置付け	事務事業名		中小企業事業資金融資あっ旋事業						担当	生活経済部 商工観光グループ		部	経済課 内線 269		課
	総合計画体系		政策	05	活力にあふれるまち			施策	21	商工業の活性化		基本事業	74	経営の安定化	
	計画年度		昭和 52 年度 ～ 年度			事業区分1 継続		事業区分2 単独		評価類型		未設定	会計区分		一般会計
	財務会計コード		001-070102-04-			外部評価実施年度		平成22年度		外部評価進行管理			経費区分		未設定
	予算概算要求区分		未設定			成果設定年度		備考		001-070102-04-					
事務事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）						◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）								
	（対象）市内に事業所を有する中小企業 （必要とされる理由） 市内の中小企業が安定した資金調達をできるようにするため。						A	事業所数							
							B								
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）								
	市内中小企業に対し、中小企業事業資金融資あっ旋審査会にて審査の上、茨城県信用保証協会の保証付融資を行い、信用保証料の一部補助（上限0.8%）により負担の軽減を図り、支援する。						C	あっ旋審査会開催回数							
							D	金融機関への預託金額							
							手段・備考	・振興金融 融資限度額 運転資金、設備資金2,000万円 ・自治金融 ※事務は守谷市商工会に委託 融資限度額 運転資金、設備資金1,000万円							
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）								
	中小企業の経営安定・近代化を図る。						E	新規自治金融融資件数							
							F	新規振興金融融資件数							
	4 事業量・コスト・指標の推移														
	区分		単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画			
	A 対象指標①		事業所	2,018	2,018	2,012	2,012	2,012							
B 対象指標②															
C 活動指標①		回	12	12	16	18	18								
D 活動指標②		千円	6,000	6,000	8,000	8,000	8,000								
E 成果指標①		件	55	70	54	65	70								
F 成果指標②		件	18	20	10	13	15								
G 事業費	計	千円	20,288	19,350	19,187	22,552	22,552								
	ア 国	千円													
	イ 県	千円													
	ウ 地方債	千円													
	エ 使用料	千円													
	オ その他	千円	6,021	6,071	8,092	8,092	8,092								
	カ 一般	千円	14,267	13,279	11,095	14,460	14,460								
H 正職員人工数		人工		0	0	0	0								
I 正職員人件費		千円		0	0	0	0								
J トータルコスト		千円	20,288	19,350	19,187	22,552	22,552								
K 臨職賃金等		千円													
ア．国支出金（補助名・補助率）			イ．県支出金（補助名・補助率）			ウ．地方債（名称、充当率）			エ＋オ．使用料 その他財源						
									中小企業事業資金預託金 8000						
									事業資金預託金利息等 92						
事業費内訳	28年度		29年度			30年度			31年度						
	事業内容		予算額	事業内容		計画額	事業内容		計画額	事業内容		計画額			
	報酬		252	報酬		252									
	旅費		10	旅費		10									
	負担金補助及び交付		12,990	負担金補助及び交付		12,990									
	貸付金		8,000	貸付金		8,000									
	投資及び出資金		1,300	投資及び出資金		1,300									
	計		22,552	計		22,552	計			計					

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望				3 過去2年間の事務事業内容の変更点																				
	市内の中小企業者の経営の安定化・近代化を図るために実施した。		市補助金審議会より、保証料の見直しを行うよう要望が出されていたが、平成20年度から保証料の補給額に限度を設けるよう要綱を改正した。				特になし																				
昨年度の評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善						改革改善に伴う予算への反映																				
	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 改善 ○ 統合 ● 現状維持	具体的内容	中小企業が必要とする資金融資について、審査会による審査を実施し、あっ旋事務を行った。				削減額	事業費	(	千円)																	
								人件費	(	千円)																	
							増加額	事業費	(	千円)																	
								人件費	(	千円)																	
							☒ 予算への影響なし																				
目的妥当性(必要性)	1 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？)																										
	○ 法定受託事業である 根拠法令→) ● 妥当である ○ 妥当性が低い			市内の中小企業に対し、経営安定化・近代化を図る支援策である。																							
	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？																										
	○ 貢献度大きい 理由→) ● 貢献度ふつう 理由→) ○ 貢献度小さい 理由→)			中小企業が必要とする資金の確保によって、経営安定化・近代化を図ることができる。																							
有効性	3-1 成果は順調にあがっていますか？		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？																								
	○ あがっている ● 横ばい、停滞している ○ 低下している		○ 成果向上余地 大 ○ 成果向上余地 中 ● 成果向上余地 小 無し		融資件数に大きな変動は無く、成果は横ばいとなっている。融資あっ旋による支援事業であり、成果向上余地は無い。																						
効率性	4 現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)																										
	○ ある ● ない				融資額、保証料の補填とも、上限を設けて実施しており、削減の余地はない。																						
改革・予算反映案(二次評価結果)	改革概要・改革により期待される効果																										
	中小企業が必要とする資金の確保を支援することによって、経営安定化・近代化に寄与するものであり、現状維持とする。						改革方向性：現状維持																				
							コスト方向性																				
							<table><tr><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						削減	維持	増加	向上				維持				低下			
								削減	維持	増加																	
	向上																										
維持																											
低下																											
改革の時期・スケジュール						改革実施による予算・人員の増減																					
特になし						特になし																					
改革のスケジュール表																											
実施事項の項目名			実施時期(単位：四半期)		28年度				29年度				30年度														
					I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II													
計画																											
特記事項																											

評価区分 ● 通常 ○ 成果指標付簡易 ○ 簡易 [187]

位置付け	事務事業名		商工会育成補助事業				担当	生活経済部		部	経済課		課
							担当	商工観光グループ		担当	内線 268		
	総合計画体系	政策	05 活力にあふれるまち		施策	21	商工業の活性化		基本事業	75	地域商業の充実		
	計画年度	年度 ～ 年度		事業区分1	継続	事業区分2	単独	評価類型	未設定	会計区分	一般会計		
	財務会計コード	001-070102-03-		外部評価実施年度		平成23年度		外部評価進行管理		対象	経費区分	未設定	
	予算概算要求区分		未設定		成果設定年度				備考	001-070102-01-※			
事務事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）						◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）						
	（対象）守谷市商工会（商工会会員事業所） （必要とされている理由） ・市内商工業の育成と振興を図るため、市内事業者が会員となっている商工会を補助する。						A	商工会会員事業所数					
							B						
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）						
	【商工会事業概要】 ・経営改善普及事業の推進、商工会リーディング事業、地域総合振興事業、各種共済事業の普及推進に対する支援 ・会員の金融制度の活用や経営相談、税務相談、労働、共済事業の推進 ・エキスパート事業、地域力連携拠点事業、経営革新塾の開催						C	市補助金額					
							D						
							手段・備考	・平成25年12月20日付け平成26年度守谷市補助金の交付に関する答申において、商工会育成事業費補助金に対し、判定不能と答申されたが、商工会は、商工会法において、地域の商工業の改善発達を図り、社会の福祉の増進に資することを目的とした地域総合経済団体とされ、公益性が強いことから、補助を継続している。					
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）						
	市内商工業者の育成と振興を支援する。						E	市補助額／商工会の総収入額					
							F						
	4 事業量・コスト・指標の推移												
		区分	単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画	
	A	対象指標①	事業所	800	800	836	836	836					
	B	対象指標②											
	C	活動指標①	千円	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500					
D	活動指標②	千円											
E	成果指標①	%	11.1	11.1	9.9	11	11						
F	成果指標②												
G 事業費	計	千円	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500						
	ア 国	千円											
	イ 県	千円											
	ウ 地方債	千円											
	エ 使用料	千円											
	オ その他	千円											
	カ 一般	千円	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500						
H	正職員人工数	人工		0	0	0	0						
I	正職員人件費	千円		0	0	0	0						
J	トータルコスト	千円	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500						
K	臨職賃金等	千円											
ア．国支出金（補助名・補助率）			イ．県支出金（補助名・補助率）			ウ．地方債（名称、充当率）			エ＋オ．使用料 その他財源				
事業費内訳	28年度		29年度		30年度		31年度						
	事業内容	予算額	事業内容	計画額	事業内容	計画額	事業内容	計画額					
	負担金補助及び交付	7,500	負担金補助及び交付	7,500									
	計	7,500	計	7,500	計		計						

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点															
	商工業者の経営改善普及事業の推進、商工会等リーディング事業、地域総合振興事業、各種共済事業の普及推進のため、支援を行う。		TXが開業すると共に、新たな中心市街地となる駅前の整備が進んでいる。商工会が積極的に市内の商工業の活性化を図ってもらいたいとの意見がある。		特になし															
昨年度の評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善				改革改善に伴う予算への反映															
	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 改善 ○ 統合 ● 現状維持 具体的内容 <td colspan="2">補助対象の事業が支障なく運営された。</td> <td colspan="2">削減額 事業費 (千円) 人件費 (千円) 増加額 事業費 (千円) 人件費 (千円) ☒ 予算への影響なし</td>	補助対象の事業が支障なく運営された。		削減額 事業費 (千円) 人件費 (千円) 増加額 事業費 (千円) 人件費 (千円) ☒ 予算への影響なし																
目的妥当性(必要性)	1 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？)		市内商工業の振興を支援する商工会は、地域総合経済団体として公益性が強く、地域の産業振興のために補助することは、妥当である。																	
	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？		商工会は、市内事業者を会員として、経営支援等の活動することにより、地域商工業に貢献している。																	
有効性	3-1 成果は順調にあがっていますか？		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？		商工会の運営(収入)に大きな変化はなく、横ばいとなっている。運営に対する補助金であり、成果向上の余地は無い。															
	4 現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)		「守谷市商工会補助金交付要綱」に基づくものであり、削減方法は無い。																	
効率性	改革概要・改革により期待される効果																			
	補助対象を明確にするため、補助要綱を改正する。				改革方向性：現状維持 コスト方向性 <table><tr><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下		
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持																				
低下																				
改革・予算反映案(二次評価結果)	改革の時期・スケジュール				改革実施による予算・人員の増減															
	平成29年度補助金から改正補助要綱の対象とするよう見直しを実施				特になし															
	改革のスケジュール表																			
	実施事項の項目名		実施時期(単位：四半期)		28年度				29年度				30年度							
計画			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II								
	補助要綱改正の検討		⇒⇒⇒	⇒																
	補助要綱改正			⇒⇒																
特記事項																				

評価区分 ● 通常 ○ 成果指標付簡易 ○ 簡易 [774]

位置付け	事務事業名	住宅リフォーム資金補助金交付事業										担当	生活経済部		部	経済課		課			
												担当	商工観光グループ		担当	内線		268			
	総合計画体系	政策	05	活力にあふれるまち					施策	21	商工業の活性化			基本事業	75	地域商業の充実					
	計画年度	平成 26 年度 ～ 平成 28 年度					事業区分1		継続		事業区分2		補助		評価類型		未設定		会計区分	一般会計	
	財務会計コード	01-070102-10-					外部評価実施年度						外部評価進行管理						経費区分	未設定	
	予算概算要求区分			未設定			成果設定年度						備考								
事務事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）										◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）										
	(対象) 個人住宅を所有する市民・市内施工業者（建物改修工事） (必要な理由) 市民の生活の向上を図るとともに地域経済の活性化を促進するため。										A		補助金交付決定者数								
											B		補助対象工事施工業者数								
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）										◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）										
	・市民の生活向上を図るとともに地域経済の活性化を促進するため、住宅のリフォーム工事を市内施工業者によって行った者に対し、その費用の一部を補助する。 ・事業効果を検証するため、申請者及び事業者に対しに対しアンケートを実施する。										C		補助金交付決定額								
											D										
											手段・備考		・予算額の範囲内で補助する事業であり、交付申請額が予算額に達した時点で、申請受付を終了するが、工事内容等の変更により補助金確定額が減少する場合がある。								
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）										
	・住宅機能の維持・改善による市民の生活向上を図る。 ・市内消費喚起による地域経済の活性化を促進する。										E		補助対象工事金額								
											F										
	4 事業量・コスト・指標の推移																				
			区分	単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画								
	A		対象指標①	人	62	50	56	50													
	B		対象指標②	事業者	27	50	16	50													
	C		活動指標①	千円	4,756	5,000	4,875	5,000													
D		活動指標②																			
E		成果指標①	千円	75,000	50,000	67,866	50,000														
F		成果指標②																			
G 事業費		計	千円	4,756	5,000	4,875	5,000														
		ア 国	千円	2,428	2,450	2,337	2,250														
		イ 県	千円																		
		ウ 地方債	千円																		
		エ 使用料	千円																		
		オ その他	千円																		
		カ 一般	千円	2,328	2,550	2,538	2,750														
H		正職員人工数	人工		0	0	0	0													
I		正職員人件費	千円		0	0	0	0													
J		トータルコスト	千円	4,756	5,000	4,875	5,000	0													
K		臨職賃金等	千円																		
ア．国支出金（補助名・補助率）				イ．県支出金（補助名、補助率）				ウ．地方債（名称、充当率）				エ＋オ．使用料 その他財源									
社会資本整備総合交付金		45%																			
事業費内訳	28年度			29年度				30年度				31年度									
	事業内容		予算額	事業内容		計画額		事業内容		計画額		事業内容		計画額							
	負担金補助及び交付		5,000																		
	計		5,000	計		0		計				計									

事務事業評価表[B表] 継続・通常

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点																		
	平成20年、23年に、議会一般質問にて住宅リフォーム補助金の実施を要望された。消費増税問題もあり、市内中小事業者の活性化が求められていた。				なし。（平成26年度新規事業のため）																		
昨年度の 評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善				改革改善に伴う予算への反映																		
	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 改善 ○ 統合 ● 現状維持	具体的内容	平成26年度と同額、同条件で補助事業を実施した。		削減額 事業費（ 千円） 人件費（ 千円） 増加額 事業費（ 千円） 人件費（ 千円） ☒ 予算への影響なし																		
目的 妥当性 （必要性）	1 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？）		市民生活の向上を図るとともに、地域経済の活性化を促進するために妥当である。県内でも14の自治体で実施している。																				
	○ 法定受託事業である 根拠法令→ ● 妥当である ○ 妥当性が低い																						
有効性	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？		補助金交付金額に対し、約14倍弱の工事金額が地元施工業者にて施行されており、商工業の活性化に結びつく。																				
	○ 貢献度大きい 理由→ ● 貢献度ふつう 理由→ ○ 貢献度小さい 理由→																						
効率性	3-1 成果は順調にあがっていますか？		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？		補助金交付金額に対し、約14倍弱の工事金額が地元施工業者にて施行されている。工事金額及び件数は減少しているが、大きな減少まではみられない。																		
	● あがっている ○ 横ばい、停滞している ○ 低下している		○ 成果向上余地 大 ● 成果向上余地 中 ○ 成果向上余地 小 無し																				
改革概要・ 予算反映案 （二次評価結果）	4 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）		事業費は、補助金交付額となるので削減の余地はない。																				
	○ ある ● ない																						
改革・ スケジュール 表	改革概要・改革により期待される効果		改革方向性：休止廃止 コスト方向性																				
	3ヶ年の予定により、平成28年度で社会資本整備総合交付金が終了する。当初予定のとおり、3年間の期間で地域経済の活性が図れたため、事業を終了する。		<table><tr><td rowspan="3">成果方向性</td><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>				成果方向性		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	成果方向性		削減	維持	増加																		
		向上																					
		維持																					
	低下																						
改革の時期・スケジュール		改革実施による予算・人員の増減																					
平成28年度で終了。		事業費全額の減																					
改革のスケジュール表																							
実施事項の項目名		28年度		29年度		30年度																	
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II												
計画																							
特記事項																							

位置付け	事務事業名					もりやアヤメ祭り事業					担当	生活経済部			部	経済課			課		
												商工観光グループ			担当	内線	268 269				
	総合計画体系		政策	05	活力にあふれるまち					施策	22	集客資源の創出と充実				基本事業	76	特色あるイベントの開催			
	計画年度		平成 05 年度 ～ 年度			事業区分1			継続		事業区分2		単独		評価類型		未設定	会計区分		一般会計	
	財務会計コード		001-070102-08-			外部評価実施年度			平成19年度		外部評価進行管理					経費区分		未設定			
事務事業の目的と成果・コスト	予算概算要求区分		未設定			成果設定年度					備考		001-070102-08-								
	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）									◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）											
	（対象）市民等 （必要とされる理由）守谷市のPRのほか、四季の里公園のアヤメ・花菖蒲を観賞していただき、フリーマーケット等開催により、多くの人々に訪れ、楽しんでいただく。									A		守谷市人口（住民基本台帳）									
										B											
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）									◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）											
	四季の里公園内にある約43,000株のハナショウブ・アヤメ・カキツバタの開花時期に、市民が随時観賞すると同時に、イベント日を設け、フリーマーケット等の出店によりアヤメ祭りを盛り上げる。 また、アヤメ祭り期間中は市民等が安心して来園できるよう臨時駐車場への交通誘導を行うため、ガードマンの配置をする。 。平成27年度は、6月1日～6月15日にアヤメ祭りを開催した。期間中の2日間にフリーマーケットを開催した。									C		フリーマーケット等の出店数									
										D											
										手段・備考		特に休日は来場者が増え、混雑が予想されるため、混雑緩和のため警備員や駐車場の確保は必要。									
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）											
	守谷市の観光振興の一端として、市民等に何度でも四季の里公園に来園してもらおう。									E		アヤメ祭り来場者数									
F																					
4 事業量・コスト・指標の推移																					
区分		単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画										
A 対象指標①		人	64,463	64,933	64,933	65,626	65,626	65,626													
B 対象指標②																					
C 活動指標①		店	1	10	10	9	9														
D 活動指標②																					
E 成果指標①		人	900	3,000	3,584	3,750	3,750														
F 成果指標②																					
G 事業費	計	千円	640	710	674	705	257														
	ア 国	千円																			
	イ 県	千円																			
	ウ 地方債	千円																			
	エ 使用料	千円																			
	オ その他	千円																			
	カ 一般	千円	640	710	674	705	257														
H 正職員人工数		人工		0	0	0	0														
I 正職員人件費		千円		0	0	0	0														
J トータルコスト		千円	640	710	674	705	257														
K 臨職賃金等		千円																			
ア．国支出金（補助名・補助率）			イ．県支出金（補助名・補助率）			ウ．地方債（名称、充当率）			エ＋オ．使用料 その他財源												
事業費内訳	28年度		29年度			30年度			31年度												
	事業内容		予算額	事業内容		計画額	事業内容		計画額	事業内容		計画額									
	報償費		7	報償費		7															
	需用費		31	需用費		31															
	役務費		19	役務費		19															
	委託料		648	委託料		200															
	計		705	計		257	計			計											

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点									
	四季の里公園の整備当時から、景観の美しい公園や花々を市内外の人々に観賞してもらうために始まった。		平成26年5月、市民からの要望により、四季の里公園から株分けしたアヤメをプランターに移植し、アヤメ祭り開催前から公共施設に飾り、アヤメ祭りのPRを図るとともに、会場に来られない方に鑑賞する機会を提供した。		毎月第一日曜日に行われるもりや朝市にあわせ、守谷駅前にアヤメのプランターを飾り朝市参加者や駅利用者へのPRを行った。									
昨年度の 評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善				改革改善に伴う予算への反映									
	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 改善 ○ 統合 ● 現状維持 具体的内容 来場者の駐車場確保、フリーマーケット開催等を例年同様実施した。					削減額 事業費 (千円) 人件費 (千円)		増加額 事業費 (千円) 人件費 (千円)						
目的 妥当性 (必要性)	1 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？) ○ 法定受託事業である 根拠法令→) ● 妥当である ○ 妥当性が低い				市の公園である四季の里公園内の花々を多くの人に観賞してもらうために始まった観光事業であり、妥当である。									
	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ ○ 貢献度大きい 理由→) ● 貢献度ふつう 理由→) ○ 貢献度小さい 理由→)				平成5年度に始まったもりやアヤメ祭りは平成27年度で23回目を迎えた。特色あるイベントの開催として多くの人に知られるようになり、市の観光振興に貢献している。									
有効性	3-1 成果は順調にあがっていますか？ ● あがっている ○ 横ばい、停滞している ○ 低下している		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？ ○ 成果向上余地 大 ○ 成果向上余地 中 ● 成果向上余地 小 無し		平成27年度は、フリーマーケット開催日が好天に恵まれ、前年と比べ来場者が大幅に増加し成果があがった。イベント内容は、スペース等の関係から、ここ数年変わっていないため、成果向上余地は小さい。									
	4 現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む) ○ ある ● ない		平成20年度からテントやステージ設置を行わなくなったため、予算としては必要最小限としており、削減余地はない。											
改革・ 予算 反映案 (二次 評価 結果)	改革概要・改革により期待される効果													
	交通誘導員配置を催事実施時のみとし、経費削減を図る。						改革方向性：縮小 コスト方向性 削減 維持 増加 向上 維持 低下							
	改革の時期・スケジュール						改革実施による予算・人員の増減							
	平成29年度開催から適用する。						事業費約40万円の削減							
	改革のスケジュール表													
実施事項の項目名		実施時期(単位：四半期)		28年度		29年度		30年度						
				I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	
計画	交通誘導員配置期間の見直し								→					
特記事項														

位置付け	事務事業名					きらめき守谷夢彩都フェスタ支援事業					担当	生活経済部 商工観光グループ			部	経済課 内線 269			課			
	総合計画体系		政策	05	活力にあふれるまち				施策	22	集客資源の創出と充実				基本事業	76	特色あるイベントの開催					
	計画年度		平成 17 年度 ～ 年度			事業区分1		継続		事業区分2		単独		評価類型		未設定		会計区分		一般会計		
	財務会計コード		001-070102-09-			外部評価実施年度		平成19年度		外部評価進行管理				経費区分		未設定						
	予算概算要求区分		未設定			成果設定年度				備考		001-070102-09-										
事務事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）										◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）											
	（対象）市民 （必要とされる理由）守谷駅前広場から守谷市を広くアピールし、地域経済を活性化するためのイベントを支援する。										A	守谷市人口（住民基本台帳）										
											B											
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）										◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）											
	毎年9月末2日間の開催とし、平成27年度は9月26日、27日に開催した。 出店ブースは、うまかもんブース、市民活動&企業PRブース等、105ブースが出店。 ステージでのイベントは、66団体の参加があった。 その他、今回は平成27年9月関東・東北豪雨により「がんばれ！常総」の思いをこめて、復興支援の特設ブースを設け、義援金活動を行った。また、TX開業10周年記念として、TX絵画コンクール表彰式やクイズラリーを実施した。										C	出展ブース数										
											D	協賛企業数										
											手段・備考	事業費は、出展ブースの参加負担金、企業の協賛金及び市負担金により実施。										
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）											
	商工会を中心に、市民、団体の協力によるお祭りを開催し、市民に参加、来場して楽しんでもらう。										E	参加者数（ステージ）										
											F	来場者数										
	4 事業量・コスト・指標の推移																					
	区分		単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画										
	A 対象指標①		人	64,463	64,933	64,933	65,626	65,626	65,626													
	B 対象指標②																					
	C 活動指標①		件	100	90	105	100	100														
D 活動指標②		社	442	420	453	420	420															
E 成果指標①		人	1,587	1,500	1,551	1,500	1,500															
F 成果指標②		人	87,000	80,000	62,080	70,000	70,000															
G 事業費	計	千円	2,623	2,699	2,699	2,699	2,699															
	ア 国	千円																				
	イ 県	千円																				
	ウ 地方債	千円																				
	エ 使用料	千円																				
	オ その他	千円																				
	カ 一般	千円	2,623	2,699	2,699	2,699	2,699															
H 正職員人工数		人工		0	0	0	0															
I 正職員人件費		千円		0	0	0	0															
J トータルコスト		千円	2,623	2,699	2,699	2,699	2,699															
K 臨職賃金等		千円																				
ア．国支出金（補助名・補助率）			イ．県支出金（補助名・補助率）			ウ．地方債（名称、充当率）			エ+オ．使用料			その他財源										
事業費内訳	28年度		29年度			30年度			31年度													
	事業内容		予算額	事業内容		計画額	事業内容		計画額	事業内容		計画額										
	負担金補助及び交付		2,699	負担金補助及び交付		2,699																
	計		2,699	計		2,699	計			計												

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点																	
	つくばエクスプレスの開業を機会に、市民の方々とともに開業を祝うとともに、交流促進による地域振興や、守谷市を広くアピールするために、きらめき守谷夢彩都フェスタを開催した。		平成22年度からは、守谷市商工まつりと同時開催とし、商工会を主体とした実行委員会による開催とした。駅周辺の整備が進み、マンション等が建築され、開催にあたって、居住者への配慮が必要となっている。		仮設トイレを設置し、来場者の利便性を確保した。																	
昨年度の評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善				改革改善に伴う予算への反映																	
	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 改善 ○ 統合 ● 現状維持 具体的内容	9月の豪雨被害の復興支援特設ブースを設け、募金活動やT X開業10周年記念イベントを実施した。前年度より来場者が減少したが、豪雨被害の影響と思われる。		削減額 事業費 (千円) 人件費 (千円) 増加額 事業費 (千円) 人件費 (千円) ☒ 予算への影響なし																		
目的妥当性(必要性)	1 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？)		市開催によるイベントとして始まったが、守谷市商工まつりと同時開催とし、商工会を主体とした実行委員会による開催としたものであることから、市が支援することは妥当である。																			
	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ ● 貢献度大きい 理由→ ○ 貢献度ふつう 理由→ ○ 貢献度小さい 理由→		市内及びつくばエクスプレスを利用した市外からの来場者に対し、守谷市をアピールできる場となるとともに、特色あるイベントとして、「守谷の祭り」に位置付けられている。																			
有効性	3-1 成果は順調にあがっていますか？ ● あがっている ○ 横ばい、停滞している ○ 低下している		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？ ○ 成果向上余地 大 ○ 成果向上余地 中 ● 成果向上余地 小 無し		守谷市商工まつりと統合後、イベント参加者及びブース出展者は予定数を上回る応募があり、来場者が増加して、成果はあがっている。今以上の来場者増加は、守谷駅前広場での収容が困難であり、成果向上余地は少ない。																	
	4 現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む) ○ ある ● ない		単独で開催していたきらめき守谷夢彩都フェスタについて、商工会主催の守谷市商工まつりと統合するにあたり、市は負担金により支援することとしており、新たなコスト削減方法はない。																			
改革・予算反映案(二次評価結果)	改革概要・改革により期待される効果																					
	負担金による支援事業であり、現状維持とする。				改革方向性：現状維持 コスト方向性 <table><tr><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
		削減	維持	増加																		
	向上																					
	維持																					
低下																						
改革の時期・スケジュール				改革実施による予算・人員の増減																		
特になし				特になし																		
改革のスケジュール表																						
実施事項の項目名		実施時期(単位：四半期)	28年度				29年度				30年度											
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II										
計画																						
特記事項																						

評価区分 ● 通常 ○ 成果指標付簡易 ○ 簡易 [775]

位置付け	事務事業名	MOCOフェスタ支援事業										担当	生活経済部		部	経済課		課
												担当	商工観光グループ		担当	内線		269
	総合計画体系	政策	05	活力にあふれるまち					施策	22	集客資源の創出と充実			基本事業	76	特色あるイベントの開催		
	計画年度	平成 26 年度 ～ 平成 28 年度			事業区分1		継続		事業区分2		単独		評価類型	未設定		会計区分	一般会計	
	財務会計コード	001-070102-11-			外部評価実施年度				外部評価進行管理				経費区分		未設定			
	予算概算要求区分		未設定		成果設定年度				備考		001-070102-11							
事業事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）										◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）							
	（対象）市民 （必要とされる理由）企業と市民の交流の場であり、企業及び市民が一体となって守谷市を盛り上げるイベントであるため。										A	守谷市人口（住民基本台帳）						
											B							
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）										◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）							
	東日本大震災を契機に「元気。茨城！！」を守谷から発信しよう」をテーマとして始まり、平成27年度で4回目を迎える。子どもから大人までが楽しめる地域に根ざしたイベントとして、盛り上がりを見せる。 平成27年度は、MOCOフェスタのマスコットキャラクター「もりやもり」や近隣のキャラクターが集結し会場を盛り上げた。また、ブースでは北茨城市等の復興支援の一助として、グルメブースの出店、ステージでは市内中学校の吹奏楽演奏などが行われ、市内の企業や市民団体とともに守谷市の地場産品や観光資源のPRを行った。										C	出展ブース数						
											D	協賛企業数						
											手段・備考	事業費は、出店ブースの参加負担金、企業の協賛金及び市補助金により実施。						
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）										◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）							
	企業、市民が一体となってイベントを開催し、守谷から元気茨城を発信・PR、復興支援の一助をする。										E	来場者数						
											F							
	4 事業量・コスト・指標の推移																	
		区分	単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画						
	A	対象指標①	人	64,463	64,933	64,933	65,626	65,626										
	B	対象指標②																
	C	活動指標①	件	29	25	31	30	30										
D	活動指標②	社	38	35	38	35	35											
E	成果指標①	人	19,940	19,000	21,500	21,500	21,500											
F	成果指標②																	
G 事業費	計	千円	1,000	1,000	1,000	800	0											
	ア 国	千円																
	イ 県	千円																
	ウ 地方債	千円																
	エ 使用料	千円																
	オ その他	千円																
	カ 一般	千円	1,000	1,000	1,000	800	0											
H	正職員人工数	人工		0	0	0	0											
I	正職員人件費	千円		0	0	0	0											
J	トータルコスト	千円	1,000	1,000	1,000	800	0											
K	臨職賃金等	千円																
ア．国支出金（補助名・補助率）			イ．県支出金（補助名・補助率）			ウ．地方債（名称、充当率）			エ＋オ．使用料 その他財源									
事業費内訳	28年度		29年度		30年度		31年度											
	事業内容	予算額	事業内容	計画額	事業内容	計画額	事業内容	計画額										
	負担金補助及び交付	800	負担金補助及び交付	0														
	計	800	計	0	計		計											

事務事業評価表[B表] 継続・通常

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点																							
	東日本大震災を契機に、元気茨城を発信しようをテーマに市内の企業、市民が一体となり始まったイベント。		特になし		平成24年度からイベントが開催されたが、市補助金は平成26年度からである。																							
昨年度の評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善					改革改善に伴う予算への反映																						
	終了 廃止 休止 改善 統合 現状維持 具体的内容 北茨城市等の復興支援ブースや近隣自治体のグルメブース、市内全中学校の吹奏楽演奏、近隣のマスコットキャラクター等のイベントを実施した。		削減額 事業費 (千円) 人件費 (千円) 増加額 事業費 (千円) 人件費 (千円) ☒ 予算への影響なし																									
目的妥当性(必要性)	1 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？)			企業や市民団体を含めた実行委員会により開催され、市のPRや多くの市民が参加できるイベントとなっており、市が支援することは妥当である。																								
	法定受託事業である 根拠法令→ 妥当である 妥当性が低い																											
有効性	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？			独自のマスコットキャラクターに加え、近隣のマスコットキャラクターが出演することで、市内外からの集客もあり、守谷市をアピールできる場として、特色あるイベントに定着してきた。																								
	貢献度大きい 理由→ 貢献度ふつう 理由→ 貢献度小さい 理由→																											
効率性	3-1 成果は順調にあがっていますか？		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？		来場者の増加により、守谷市をアピールする場としての効果があがっている。																							
	あがっている 横ばい、停滞している 低下している		成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小 無し																									
改革・予算反映案(二次評価結果)	4 現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)																											
	ある ない 市の補助金については、適正な補助を算出している。																											
改革・スケジュール	改革概要・改革により期待される効果																											
	平成28年度は補助金対象最終年度(3年目)となり、現状を維持するが、平成29年度以降は、実行委員会の自主財源による運営とする。								改革方向性：縮小																			
									コスト方向性																			
									<table><tr><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>					削減	維持	増加	向上				維持				低下			
										削減	維持	増加																
	向上																											
維持																												
低下																												
改革の時期・スケジュール																												
平成29年度開催から自主財源により運営。								改革実施による予算・人員の増減																				
計画	改革のスケジュール表																											
	実施事項の項目名		実施時期(単位：四半期)		28年度				29年度				30年度															
					I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II														
	自主財源運営による開催						⇒					⇒																
特記事項																												

評価区分 ● 通常 ○ 成果指標付簡易 ○ 簡易 [191]

位置付け	事務事業名		守谷市PR事業					担当	生活経済部		部	経済課		課	
									商工観光グループ		担当	内線 269			
	総合計画体系		政策	05	活力にあふれるまち			施策	22	集客資源の創出と充実		基本事業	77	積極的な地域資源の創出と情報提供	
	計画年度		平成 24 年度 ～ 年度			事業区分1 継続		事業区分2 単独		評価類型		未設定	会計区分	未設定	
	財務会計コード		001-070102-06-			外部評価実施年度				外部評価進行管理			経費区分	未設定	
予算概算要求区分		未設定		成果設定年度				備考							
事務事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）							◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）							
	(対象) 市民 (必要とされる理由) 守谷市の魅力を知ってもらうため。							A	守谷市人口（住民基本台帳）						
								B							
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）							
	守谷市をPRするパンフレット等配布，イベント参加や協力 ●平成27年度 ・守谷市観光協会パンフレット「歩いてみよう発見のまち守谷」「守谷野鳥の森散策路と鳥のみち」配布 ・常総地方観光促進協議会いばらきよいとこプランバスツアー企画及び運営，パンフレット「じもっと」配布 ・守谷灼熱の雪合戦開催協力 ・下館駅なかフェスティバル参加 ・茨城復興支援イベント参加（東京都江東区） ・常磐道全通1周年記念イベント参加							C	パンフレット等配布数						
								D							
								手段・備考							
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）							
	守谷市の様々な魅力を知ってもらうとともに，市外に対しても情報を発信し，認知度の向上を図る。							E	イベント等のマスコミへの掲載件数						
								F							
	4 事業量・コスト・指標の推移														
	区分		単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画			
	A	対象指標①	人	64,463	64,933	64,933	65,626	65,626	65,626						
	B	対象指標②	人												
	C	活動指標①	枚	6,500	4,000	4,500	4,000	4,000							
D	活動指標②														
E	成果指標①	回	31	30	30	30	30								
F	成果指標②														
G 事業費	計	千円	329	361	336	325	325								
	ア 国	千円													
	イ 県	千円													
	ウ 地方債	千円													
	エ 使用料	千円													
	オ その他	千円													
カ 一般	千円	329	361	336	325	325									
H	正職員人工数	人工		0	0	0	0								
I	正職員人件費	千円		0	0	0	0								
J	トータルコスト	千円	329	361	336	325	325								
K	臨職賃金等	千円													
ア．国支出金（補助名・補助率）			イ．県支出金（補助名・補助率）			ウ．地方債（名称、充当率）			エ＋オ．使用料 その他財源						
事業費内訳	28年度		29年度		30年度		31年度								
	事業内容	予算額	事業内容	計画額	事業内容	計画額	事業内容	計画額							
	旅費	15	旅費	15											
	需用費	150	需用費	150											
	負担金補助及び交付	160	負担金補助及び交付	160											
計		325	計		325	計		計							

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点																	
	守谷市は、都心へのアクセスの良さ、恵まれた自然もあり、年々人口が増加している。守谷市の魅力を市民にPRするとともに、市外への認知度向上を図る。		特になし。		観光振興事業から分割。平成24年度から事務事業実施。																	
昨年度の評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善				改革改善に伴う予算への反映																	
	終了 廃止 休止 改善 統合 現状維持 具体的内容	シティプロモーション事業と連携し、メディアへの情報提供、SNSやイベントを通してのPRを行った。		削減額 事業費 (千円) 人件費 (千円) 増加額 事業費 (千円) 人件費 (千円) ☒ 予算への影響なし																		
目的妥当性(必要性)	1 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？(事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？)		守谷市をPRするための事業費は、守谷市を紹介する上で必要不可欠であり、妥当である。																			
	法定受託事業である 根拠法令→ 妥当である 妥当性が低い 2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？ 貢献度大きい 理由→ 貢献度ふつう 理由→ 貢献度小さい 理由→		PRによる認知度向上や情報提供により、集客資源の創出を図ることができる。																			
有効性	3-1 成果は順調にあがっていますか？		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？		クリスマスファンタジーの当日イベントが雨で中止となったが、イベント等がマスコミに取り上げられる回数は昨年同様であり、増加傾向と考えられ、成果は上がっている。																	
	あがっている 横ばい、停滞している 低下している 3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？ 成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小 無し																					
効率性	4 現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)		守谷市をPRするための事業は、守谷市を紹介する上で必要であり、これ以上の削減はできない。																			
	ある ない																					
改革・予算反映案(二次評価結果)	改革概要・改革により期待される効果																					
	引き続きシティプロモーション事業と連携し、効果的なPRを行う。				改革方向性：拡充 コスト方向性 <table><tr><td></td><td>削減</td><td>維持</td><td>増加</td></tr><tr><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
		削減	維持	増加																		
	向上																					
	維持																					
低下																						
改革の時期・スケジュール				改革実施による予算・人員の増減																		
随時、様々な場で情報を提供し、PRする。				特になし																		
改革のスケジュール表																						
実施事項の項目名		実施時期(単位：四半期)	28年度				29年度				30年度											
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II										
計画	シティプロモーションとの連携		⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒												
特記事項																						

評価区分 ● 通常 ○ 成果指標付簡易 ○ 簡易 [192]

位置付け	事務事業名		守谷市観光協会補助事業					担当	生活経済部		部	経済課		課	
									商工観光グループ		担当	内線 269			
	総合計画体系		政策	05	活力にあふれるまち			施策	22	集客資源の創出と充実		基本事業	77	積極的な地域資源の創出と情報提供	
	計画年度		年度 ～ 年度		事業区分1		継続	事業区分2		単独	評価類型	未設定	会計区分	未設定	
	財務会計コード		001-070102-07-			外部評価実施年度				外部評価進行管理				経費区分	未設定
予算概算要求区分		未設定		成果設定年度				備考							
事務事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）							◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）							
	（対象）守谷市観光協会 （必要とされる理由）守谷市内の観光資源の発掘をし、地域資源を活用した観光づくりを行う観光協会の活動を支援するため。							A	観光協会会員数						
								B							
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）							
	守谷市観光協会による観光開発や、観光活動を支援するために、補助を実施する。 守谷市観光協会は、まちづくり型観光振興を基本とし、地域資源を活用した観光を目指している。 ●平成27年度 ・県内外イベント参加（守谷市PR実施） ・野鳥の森散策路・鳥のみちPR、管理 ・駅前花壇の管理、整備							C	イベント等への参加回数						
								D							
								手段・備考	守谷野鳥の森散策路に接続した「鳥のみち」が完成し、守谷市の新たな観光地として、市内外から大勢の観光客が訪れている。						
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）							
	守谷市観光協会を補助することにより、観光資源づくりや守谷市の魅力を広報する観光協会の活動を支援する。							E	観光資源発掘及び地域資源活用箇所数						
								F							
	4 事業量・コスト・指標の推移														
	区分		単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画			
	A	対象指標①	人	18	18	22	22	22							
	B	対象指標②													
	C	活動指標①	回	4	4	4	4	4							
	D	活動指標②													
	E	成果指標①	箇所	3	3	3	3	3							
	F	成果指標②													
	G 事業費	計	千円	600	800	800	800	800							
		ア 国	千円												
イ 県		千円													
ウ 地方債		千円													
エ 使用料		千円													
オ その他		千円													
カ 一般		千円	600	800	800	800	800								
H	正職員人工数	人工		0	0	0	0								
I	正職員人件費	千円		0	0	0	0								
J	トータルコスト	千円	600	800	800	800	800								
K	臨職賃金等	千円													
ア．国支出金（補助名・補助率）			イ．県支出金（補助名・補助率）			ウ．地方債（名称、充当率）			エ＋オ．使用料 その他財源						
事業費内訳	28年度		29年度				30年度			31年度					
	事業内容	予算額	事業内容	計画額	事業内容	計画額	事業内容	計画額	事業内容	計画額					
	負担金補助及び交付	800	負担金補助及び交付	800											
	計	800	計	800	計		計								

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点							
	昭和57年に北守谷団地の街開きが行われ、守谷町が大きく変わろうとした時期に、守谷のPRと観光振興のために守谷市観光協会が設立された。		平成17年のつくばエクスプレス開業とともに人口が増加し、都心からのアクセスの良さと、自然が残る守谷市の観光開発が望まれている。		茨城ゴルフクラブで開催するサロンパスカップや茨城復興支援イベントへのブース出展、守谷市をPRしている。							
昨年度の評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善				改革改善に伴う予算への反映							
	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止 ● 改善 ○ 統合 ○ 現状維持 具体的内容 <td colspan="2">観光協会により野鳥の森散策路と鳥のみちが整備され、市内の観光振興が図られた。市内外から来訪者が増え、パトロールや施設内の点検、草刈などの管理が行われた。</td> <td colspan="2">削減額 事業費 (千円) 人件費 (千円) 増加額 事業費 (千円) 人件費 (千円) ☒ 予算への影響なし</td>	観光協会により野鳥の森散策路と鳥のみちが整備され、市内の観光振興が図られた。市内外から来訪者が増え、パトロールや施設内の点検、草刈などの管理が行われた。		削減額 事業費 (千円) 人件費 (千円) 増加額 事業費 (千円) 人件費 (千円) ☒ 予算への影響なし								
目的妥当性(必要性)	1 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか？ (事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？)		守谷市の観光を振興する守谷市観光協会に対する補助事業であり、妥当である。									
	○ 法定受託事業である 根拠法令→) ● 妥当である ○ 妥当性が低い											
有効性	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？		積極的な観光資源の発掘と情報提供をし、観光振興を図っている。									
	○ 貢献度大きい 理由→) ● 貢献度ふつう 理由→) ○ 貢献度小さい 理由→)											
効率性	3-1 成果は順調にあがっていますか？		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？		鳥のみちの完成により観光資源を増加させ、成果は上がっている。							
	● あがっている ○ 横ばい、停滞している ○ 低下している		○ 成果向上余地 大 ● 成果向上余地 中 ○ 成果向上余地 小 無し									
改革概要・改革により期待される効果	4 現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか？(受益者負担含む)		事業費は協会への補助金であり、補助金等審議会でも審査されており、これ以上の削減はできない。									
	○ ある ● ない											
改革・予算反映案(二次評価結果)	改革概要・改革により期待される効果		改革方向性：現状維持 コスト方向性									
	公益団体である観光協会に対する補助事業であり、現状維持とする。		成果方向性	削減 維持 増加								
				向上								
				維持								
				低下								
改革の時期・スケジュール		改革実施による予算・人員の増減										
特になし		特になし										
改革のスケジュール表												
実施事項の項目名		実施時期(単位：四半期)	28年度				29年度				30年度	
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II
計画												
特記事項												

位置付け	事務事業名		守谷生まれの食品推進事業					担当	生活経済部 商工観光		部	経済課 内線 268		課
	総合計画体系		政策	05	活力にあふれるまち			施策	22	集客資源の創出と充実		基本事業	77	積極的な地域資源の創出と情報提供
	計画年度		平成 27 年度 ～ 年度			事業区分1 継続		事業区分2 単独		評価類型		未設定	会計区分	未設定
	財務会計コード		001-070102-12-			外部評価実施年度				外部評価進行管理			経費区分	未設定
	予算概算要求区分		未設定			成果設定年度				備考				
事務事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）							◆ 対象指標名（対象の大きさを示す指標）						
	（対象）市民 （必要とされる理由）守谷市いただきます条例に基づき，食をとおして，家庭や地域の絆を築き，守谷の新たな魅力を発見するため。							A	守谷市人口（住民基本台帳）					
								B						
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							◆ 活動指標名（手段や活動内容を示す指標）						
	市、市民、生産者及び事業者の役割を定め，食のまちづくり施策として，安全で安心な食品の生産や供給，地産地消と食育を推進する。 施策を推進するために，守谷生まれの食品推進協議会を設置し，施策やその推進方法等について検討する。 ※主な役割 市：食のまちづくりに関する施策の実施 市民：守谷生まれの食品の優先的な使用と食育の推進 生産者：食品の安全性の確保 事業者：地産地消の推進への取組み							C	守谷生まれの食品推進協議会の会議開催数					
								D						
								手段・備考	食のまちづくりの推進に関する施策を実施することにより，食育との連携を含めた地産地消を図る。					
	3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）							◆ 成果指標名（意図達成度合を示す指標）						
	地産地消の推進により，食に関する産業の発展と健康で豊かな市民生活を実現する。							E	食のまちづくりの推進に関する施策数					
								F						
4 事業量・コスト・指標の推移														
区分		単位	26年度実績	27年度当初	27年度実績	28年度当初	29年度要求	29年度調整	30年度計画	31年度計画	全体計画			
A 対象指標①		人	64,463	64,933	64,933	65,626	65,626	65,626						
B 対象指標②														
C 活動指標①		回		5	3	5	5							
D 活動指標②														
E 成果指標①		施策		1	0	1	2							
F 成果指標②														
G 事業費	計	千円		225	100	225	225							
	ア 国	千円												
	イ 県	千円												
	ウ 地方債	千円												
	エ 使用料	千円												
	オ その他	千円												
	カ 一般	千円		225	100	225	225							
H 正職員人工数		人工		0	0	0	0							
I 正職員人件費		千円		0	0	0	0							
J トータルコスト		千円		225	100	225	225							
K 臨職賃金等		千円												
ア．国支出金（補助名・補助率）			イ．県支出金（補助名・補助率）			ウ．地方債（名称、充当率）			エ＋オ．使用料 その他財源					
事業費内訳	28年度		29年度			30年度			31年度					
	事業内容		予算額	事業内容		計画額	事業内容		計画額	事業内容		計画額		
	報償費		225	報償費		225								
	計		225	計		225	計			計				

事務事業評価表[B表] 継続・通常

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまく環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点							
	平成26年度「いただきます条例」が制定された。守谷生まれの食品推進協議会により、食のまちづくりの推進に関する施策を推進する。		「いただきます条例」は、議員提案により制定された。		なし（平成27年度新規事業のため）							
昨年度の 評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善				改革改善に伴う予算への反映							
	○ 終了 ○ 廃止 ○ 休止 ○ 改善 ○ 統合 ○ 現状維持	具体的内容	なし（平成27年度新規事業のため）			削減額 事業費（ 千円） 人件費（ 千円） 増加額 事業費（ 千円） 人件費（ 千円） ☒ 予算への影響なし						
目的 妥当性 （必要性）	1 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？ （事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか？）			「守谷市いただきます条例」に定める市の役割により、食のまちづくりの推進に関する施策を実施するものである。								
	○ 法定受託事業である 根拠法令→ ● 妥当である ○ 妥当性が低い											
	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？			地産地消として、守谷市内において生産された農畜産物やそれらを加工した食品等を地域資源として捉えることにより、積極的に情報提供することができる。								
	○ 貢献度大きい 理由→ ● 貢献度ふつう 理由→ ○ 貢献度小さい 理由→											
有効性	3-1 成果は順調にあがっていますか？		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか？		平成27年度（初年度）は、食のまちづくりの推進に関する施策は具体化していないため成果はあがっていないが、施策を決定し取り組んでいくことで成果向上の可能性は大きい。							
	○ あがっている ● 横ばい、停滞している ○ 低下している		● 成果向上余地 大 ○ 成果向上余地 中 ○ 成果向上余地 小 無し									
効率性	4 現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）			施策を定めるまでの期間は、協議会開催経費のみであるため、削減余地はない。								
	○ ある ● ない											
改革・ 予算 反映案 （二次 評価結果）	改革概要・改革により期待される効果											
	協議会において継続して施策を検討するとともに、市ホームページ等において周知を図る。						改革方向性：拡充					
							コスト方向性					
							成果 方向性	削減	維持	増加		
								向上				
	維持											
低下												
改革の時期・スケジュール						改革実施による予算・人員の増減						
協議会開催：5回 周知・PR活動：通年						特になし						
改革のスケジュール表												
実施事項の項目名		実施時期(単位：四半期)	28年度				29年度				30年度	
			I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II
計画	協議会開催		⇒	⇒	⇒⇒	⇒						
	周知・PR活動		⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒	⇒⇒⇒						
特記事項												